

●土地利用構想

中津川らしい豊かな自然環境や歴史文化を残す風土を守りながら、安全性、利便性、快適性、そして地域の特色を考慮した自然と調和のとれた魅力ある都市を創造していくため、総合的かつ計画的な土地利用を進め、地域内外の連携を強化し、企業立地、移住定住推進、交流人口拡大など、リニアを生かした地域活性化の取り組みを進めます。

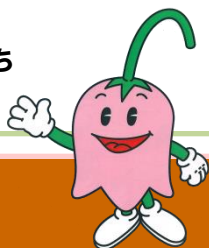
●基本構想の推進

市民に信頼され、市民との協働による行政運営を進めるため、「情報公開」「市民との協働」「行財政改革」「広域の行政連携の推進」の4つの行政経営方針を設定します。

●基本構想の体系図

将来都市像に基づく3つの基本理念を具現化するため、次の政策分野を設定しその内容を示します。

基本となる理念		政策の柱
1	人々が かがやくまち 中津川	①将来を担う人材が育つまち 〈学校教育〉〈幼児教育〉〈少子化対策・子育て支援〉 ②健康に暮らせるまち 〈健康づくり〉〈地域医療・公立病院〉 ③温かい福祉のまち 〈高齢者福祉〉〈児童福祉〉〈障がい者福祉〉〈地域福祉・社会保障〉 ④地域の活力があるまち 〈地域コミュニティ〉〈協働・市民活動〉〈人権の尊重〉〈地域公共交通〉 ⑤いきいきと暮らせるまち 〈生涯学習・読書推進・スポーツ振興〉 ⑥歴史文化に魅力があるまち
2	やすらぐ 自然に つまれたまち 中津川	①災害に強い安全なまち 〈防災・減災〉〈消防・救急〉〈防犯〉〈交通安全〉 ②きれいで豊かな自然を守るまち 〈自然環境保全〉〈再生可能エネルギー推進〉〈ごみ・し尿対策〉〈斎場・墓地〉
3	活気 あふれるまち 中津川	①働く場があり住み続けられるまち 〈工業振興〉〈商業振興〉〈農業振興〉〈林業振興〉〈地場産業振興〉 ②便利に暮らせるまち 〈道路等基盤の整備〉〈上下道基盤の維持〉〈住宅の整備〉 ③世界に向けて情報発信するまち 〈シティプロモーション〉〈企業誘致〉〈移住定住〉 ④市外との交流が盛んで、訪れたいまち 〈観光振興〉〈地域外交の推進〉

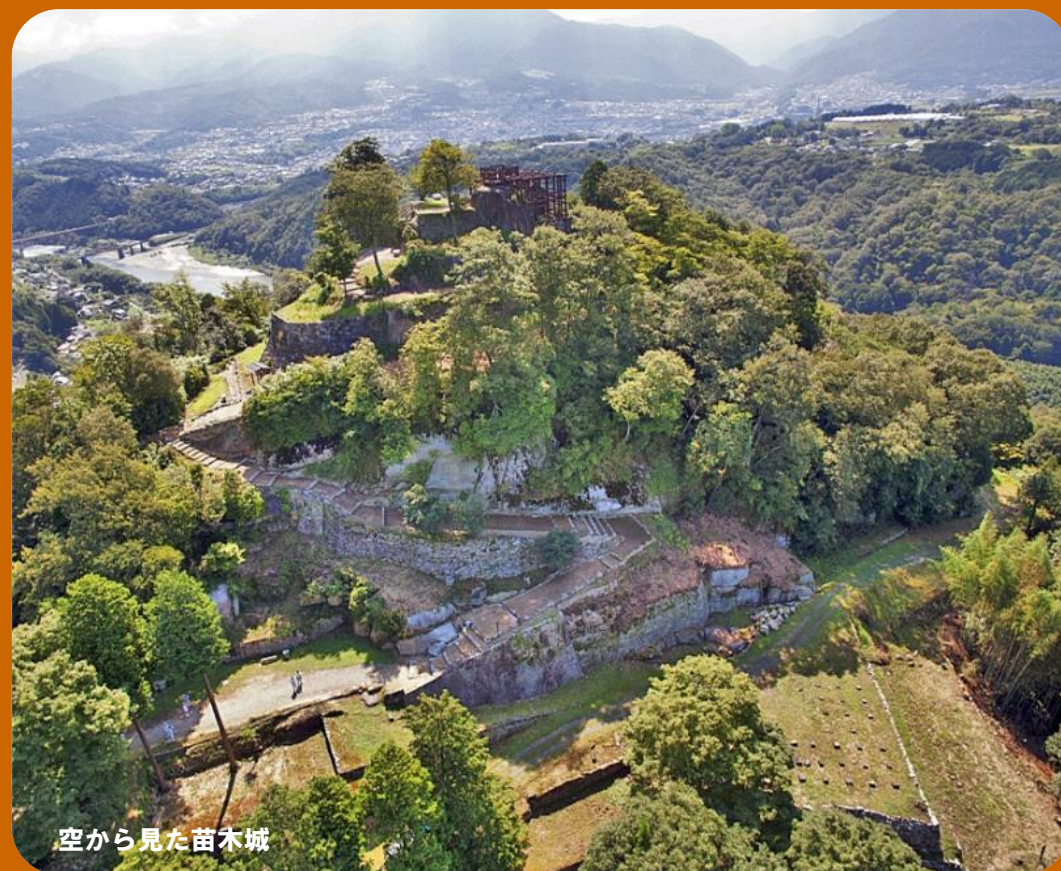


＜発行＞ 中津川市役所 電話：(0573) 66-1111 (代)
＜編集＞ 企画部 企画財務課

かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川

中津川市総合計画

中津川市では、長期的な展望に立ったまちづくりの指針として、平成27年度からリニア開業前年度(平成38年度)までを計画期間とする総合計画を策定しました。



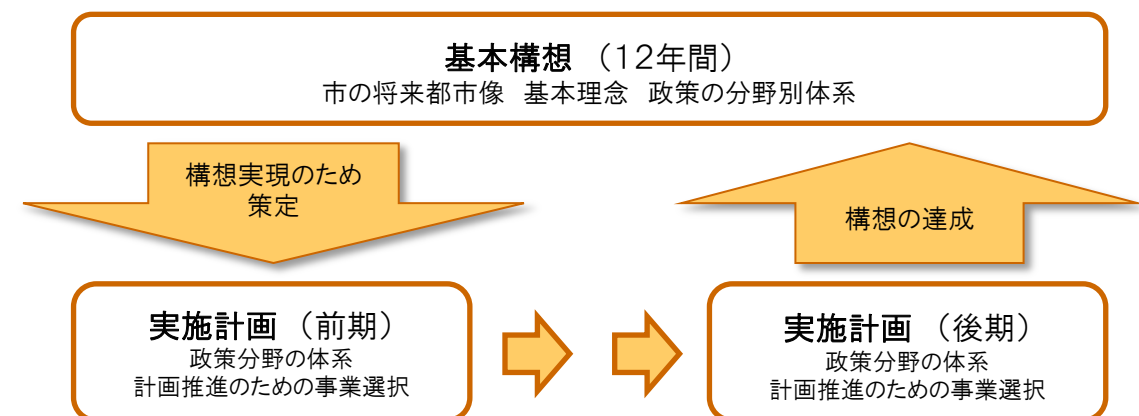
【 概 要 版 】



岐阜県 中津川市

●総合計画の構成

総合計画は、基本構想と実施計画の二層とします。



●総合計画の期間

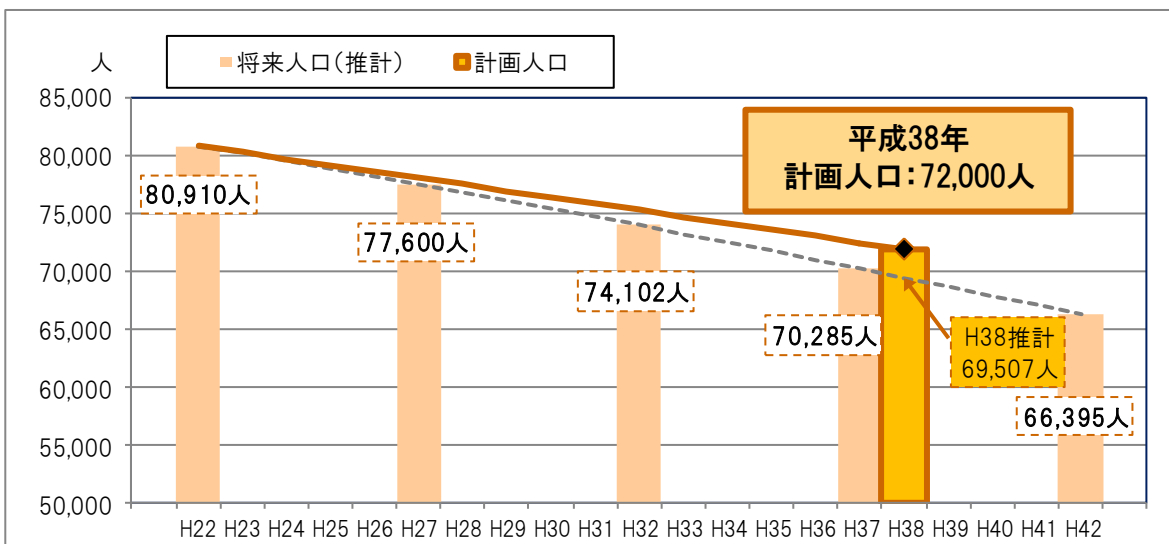
基本構想の計画期間は、平成27年度から平成38年度までの12年間とします。

実施計画の計画期間は、12年を前期、中期、後期の各4年間とします。

H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基本構想 12年											
実施計画(前期) 4年				実施計画(中期) 4年				実施計画(後期) 4年			

●計画人口

平成38年度の計画人口を、リニアのもたらす効果や本計画の推進といった要素を加味して、統計的手法に基づく推計人口(69,500人)より2,500人多い、**72,000人**とします。



※ただし、リニア開業後にその効果を最大限に発揮するための礎とする計画であることから、本計画を推進すること
で、長期的にはリニア開業後の人口増加も含め80,000人の人口を確保することを目標とします。

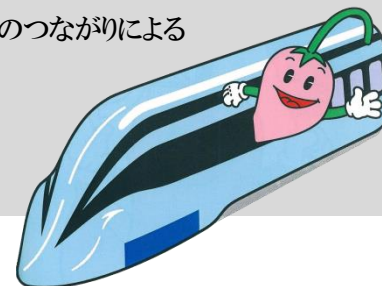
(3) 活気あふれるまち 中津川

- 市内企業は経営規模が拡大し、新たな企業の進出や起業により若者が働く場所が多くあり、本市で育った若者が市内にとどまり、市外からも若者が集まり活気があるまち
- 農林業の後継者がしっかり確保され、田園や森林の美しい景観が保たれているまち
- 美しい景観が保たれた、中津川市ならではの自然・歴史・伝統文化を歩き、見、触れるために多くの観光客が訪れにぎわっているまち
- 活気あるまちにふさわしい生活基盤が整っているまち
- 中津川市の素晴らしさを世界に向けて発信しているまち

①働く場があり住み続けられるまち

〈工業振興〉〈商業振興〉〈農業振興〉〈林業振興〉〈地場産業振興〉

- 市内産業の経済活動が活発で、市内企業、新たな企業進出、起業により、若者をはじめ高齢者まで、多様な職種の働く場所が確保され、生涯働けるまち
- 農林業と製造業、商業・サービス業、観光産業等の市内産業のつながりによる相乗効果で、地域内の経済循環が活発なまち
- リニア開業という千載一遇のチャンスを生かし、世界に向けた情報発信や産学官連携への積極的な取り組みが進むまち



②便利に暮らせるまち

〈道路等基盤の整備〉〈上水道基盤の維持〉〈住宅の整備〉

- 適正規模の基盤整備が図られ、秩序ある開発により、計画的に土地利用が進む便利なまち

③世界に向けて情報発信するまち

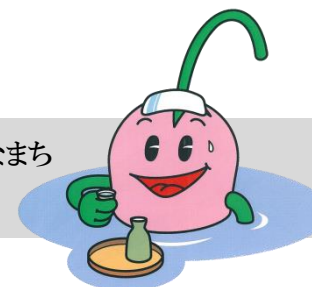
〈シティプロモーション〉〈企業誘致〉〈移住定住〉

- 世界に向けてシティプロモーション(まちの魅力発信)が積極的に行われ、最先端技術を有する企業や学校にとって「進出したい」と思われるまち

④市外との交流が盛んで、訪れたいくなるまち

〈観光振興〉〈地域外交流の推進〉

- 地域資源の魅力を磨き上げ、広域連携により市外との交流が盛んなまち
- 観光資源を生かし、来訪者をおもてなしするまち



めざすまちの姿 ～12の政策分野～

将来都市像に基づく基本理念を具現化するため、12の政策分野に、めざすまちの姿を設定します。

(1) 人々がかがやくまち 中津川

- 将来を担う子どもたちが減ってしまうことなく、たくましく、しっかりと自立した若者に育ち、その若者が地域において伝統や文化をしっかりと守り、引き継いでいけるまち
- 子どもからお年寄りまでみんなが健康で、必要な福祉・医療サービスを受けることができ、すべての人が安心していきいきと心豊かに暮らしていけるまち
- 市民活動や地域コミュニティの活動が活発で、互いに持てる力を出し合い、支え合いながら協働でつくっていけるまち
- すべての人が生涯を通じて社会を生き抜くための力を身に付け、人々の心が豊かで輝いているまち

①将来を担う人材が育つまち

〈学校教育〉〈幼児教育〉〈少子化対策・子育て支援〉

- 『子どもは未来の中津川のまちづくり人』という子育て理念に基づき、子どもたちの「よりよいひとりだち」を願い、心身ともに「たくましい子の育成」を目指した教育を進めるまち
- 家庭や地域の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域が連携して、社会全体で子どもたちを健やかに育て、将来の地域やまちづくりを担っていくことができる人材が育つまち

②健康に暮らせるまち

〈健康づくり〉〈地域医療・公立病院〉

- だれもが健康で暮らせるよう、生活習慣病の発症と重症化の予防がなされ、ライフステージごとの健康状態が改善されているまち
- かかりつけ医制度が定着し、民間医療機関と公立病院の役割分担・連携により地域格差なく安心して医療が受けられるまち



診療所



子育て支援



福岡ローマンやな



茶摘み体験授業

③温かい福祉のまち

〈高齢者福祉〉〈児童福祉〉〈障がい者福祉〉〈地域福祉・社会保障〉

- 誰もが地域や家庭で安心して暮らすことができるよう、一人ひとりにあったサービス・支援が受けられ、年齢、障がいの有無に関わらず、多様な交流が行われ、楽しさや生きがいを実感できるまち

④地域の活力があるまち

〈地域コミュニティ〉〈協働・市民活動〉〈人権の尊重〉〈地域公共交通〉

- 市民が身近な地域に関心を持ち、誰もが活躍でき、開かれたコミュニティがあるまち
- 交通弱者も不安なく過ごせる地域公共交通が整備されているまち

⑤いきいきと暮らせるまち

〈生涯学習・読書推進・スポーツ振興〉

- 子どもから高齢者まで、誰もが生涯学習・読書やスポーツ活動に主体的に参加・参画しながらいきいきと暮らせるまち

⑥歴史文化に魅力があるまち

〈歴史・文化〉

- 歴史や文化、伝統芸能の魅力を発信し、住む人々の郷土愛を育むまち
- 文化芸術に親しみ、自主的で活発な文化活動が行えるまち



加子母明治座



歌舞伎

(2) やすらぐ自然につつまれたまち 中津川

- 美しい自然をしっかりと守り、その恵みを活用していけるまち
- 再生可能エネルギーの活用やごみの資源化などにより、地球環境にやさしいまち
- 美しい環境の中で、防災など緊急時の備えも行き届いているまち

①災害に強い安全なまち

〈防災・減災〉〈消防・救急〉〈防犯〉〈交通安全〉

- 防災・消防・防犯体制が整備されていて、市民が安全に安心して暮らせるまち

②きれいで豊かな自然を守るまち

〈自然環境保全〉〈再生可能エネルギー推進〉〈ごみ・し尿対策〉〈斎場・墓地〉

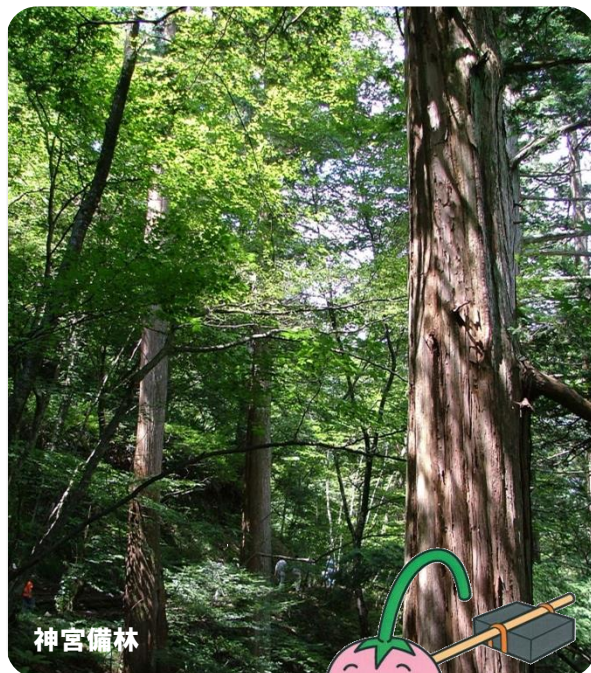
- 自然エネルギーの活用やごみの減量化・再資源化、下水道の適切な維持に取り組むことで美しい自然が守られているまち
- 森林や農地の多面的機能が発揮される里山が整備され、多様な生態系を有する豊かな自然環境と共生するまち



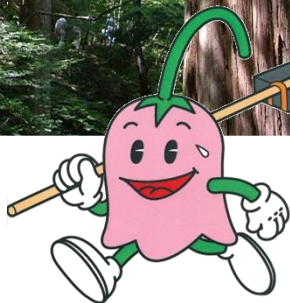
恵那山



新緑の付知峡



神宮備林



中津川市の将来都市像

平成27年度からリニア開業前年度の平成38年度までは、新たな時代の交通の要衝、産業拠点のまちとしての期待が膨らんでいます。

この期待に応える取り組みを推進するためには、市民の総力を結集することはもちろんのこと、他の自治体との連携を強力に推し進め、広域連携の要としてさらなる情報集積と積極的な情報発信を推進する「開かれたまち」となることが求められます。

そのうえで、「中津川市らしさ」という当市の魅力をさらにのばすために、次の将来都市像を設定します。

将来都市像

かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川

目標とする将来都市像のイメージ

年齢や健康状態、障がいの有無にかかわらず、だれもが安心して地域でいきいきと暮らしていて、心が豊かで開かれているまち

美しい自然はそのままに、さまざまな人や企業・知識・技術や情報などが集まってきてにぎわいがあるまち

多くの子どもたちが、ふるさとに誇りと愛着を持った地域を支える若者として育ち、地域の伝統芸能などの文化をしっかりと守り盛んにし、地域に活力があるまち

3つの基本理念

将来都市像の実現に向けて次の3つの理念を掲げます。

